

川越市立古谷小学校

ハス植え体験



第3学年

特色

- 本校の学区に「伊佐沼」があり、沼の中にある水田に毎年、自分たちが育てたハスの苗の移植を行っている。児童によるハスの苗の移植活動は、「伊佐沼の蓮を咲かそう会」の協力で行われている。4月末から苗の栽培を始め、ペットボトルで作った容器で育て、1ヶ月ほど成長を見守る。伊佐沼では夏になるとハスがピンク色の花を咲かせてきたが、激減している現在の状態を見た時、児童の願いは、「伊佐沼のハスも以前のように綺麗に咲いてほしい」と思いを込めて苗を植えている。

児童の感想

- ハスの苗を植える時は想像していた土よりやわらかく大変でした。きれいな花をさかせてたくさん種ができてほしいです。昨年、植えたハスが高さも葉の大きさも大きくなっていてすごいと思いました。自分の植えたハスも大きくなった花がさいてほしいです。

成果

- 伊佐沼のハスの花の減少から立ち上がった「伊佐沼の蓮を咲かそう会」と共に古代蓮を復活させる。総合学習でSDGsの活動を実施した。児童の主体的な社会参画に繋がり、児童が自主的な環境保全活動や環境学習を通して自然を大切に思う心や環境問題解決に自ら考え行動する力を育成できた。